

横須賀市公立保育園再編実施計画

— 令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度） —

令和2年（2020年）3月

横 須 賀 市

【目次】

1	計画策定の目的・計画期間	- 1 -
2	横須賀市の保育の現状	- 2 -
(1)	人口の推移	- 2 -
(2)	出生数及び合計特殊出生率の低下	- 2 -
(3)	就学前人口の推移	- 3 -
(4)	横須賀市の教育・保育施設等（保育のみ）の状況	- 4 -
3	公立保育園再編の基本的考え方	- 10 -
(1)	今後の保育園利用希望者数の見込み	- 10 -
(2)	市民の保育ニーズへの対応	- 11 -
(3)	子育て支援の充実	- 11 -
(4)	運営費の効率化	- 12 -
4	再編の方法	- 13 -
5	民営化の進め方	- 14 -
(1)	移管法人の選考	- 14 -
(2)	移管法人決定後	- 14 -
6	地域ごとの再編の進め方	- 15 -
(1)	追浜・田浦行政センター区域（追浜保育園、船越保育園、田浦保育園）	- 15 -
(2)	逸見行政センター・本庁区域（逸見保育園、上町保育園、鶴が丘保育園）	- 15 -
(3)	衣笠・西行政センター区域（森崎保育園、武山保育園）	- 16 -
(4)	大津・浦賀行政センター区域（鴨居保育園）	- 17 -
(5)	久里浜・北下浦行政センター区域（ハイランド保育園、津久井保育園）	- 17 -

7 再編のスケジュール.....	- 18 -
（1）認定こども園として再配置・建替えをする施設.....	- 18 -
（2）民営化を実施する施設.....	- 18 -
（3）当面の間は現状の運営を継続する施設.....	- 19 -

1 計画策定の目的・計画期間

本市では、平成20年3月に「公立保育園再編計画」を策定しました。
その中で、公立保育園再編^(*)のあり方を次のとおり整理しました。

- (1) 保育園定員の拡充と財政の効率化との両立
- (2) 多様な保育ニーズへの対応
- (3) 充実した保育を提供するための職員資質の向上

保育園へのニーズは多様化・拡大化され、官民を問わず、その対応を求められています。公立保育園では、これまで培ってきた経験を生かした保育や、関係機関との連携を密にした子育て支援、さらには「保育を必要とする児童や家庭」への支援を充実します。また、私立保育園では、法人の特徴を生かした機動力ある保育の充実や、家庭と地域の子育て力が高まる様々な活動を展開していますが、なお一層の充実が図れるよう支援します。このように官民の特徴を生かしながら、地域単位で必要な機能を持った公立保育園の充実を図り、民間に委ねることができる公立保育園は民営化を検討します。このことにより、待機児童の解消と財政の効率化を両立し、公立保育園と私立保育園との連携を強化するなど、横須賀市全体で児童やその家庭、さらには地域での子育て支援を充実します。

その後、平成27年度からは質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供や保育の量的拡大・確保及び教育・保育の質的改善などを柱とした子ども・子育て支援新制度がスタートしました。さらに令和元年10月からは、幼児教育・保育の無償化に関する制度が充実されるなど、幼児期の学校教育・保育に関して大きな制度改革が行われているとともに、依然として待機児童が生じている状況にあります。

本計画は、「公立保育園再編計画」の具体的なロードマップと位置付けている「横須賀市公立保育園再編実施計画」として、令和2年度から令和11年度の10年間の計画期間中の令和2年度から令和6年度（5年間）の内容を定めています。

計画の遂行にあたっては、市民及び関係者の皆様のご理解を得ながら、第2期横須賀子ども未来プラン（以下「未来プラン」という。）、横須賀再興プラン、横須賀FM戦略プランなどとの整合を図っていきます。

.....
(*) 公立保育園再編：

効率的な事業運営ができるよう統合、民営化等により公立保育園の組織体制を見直すこと

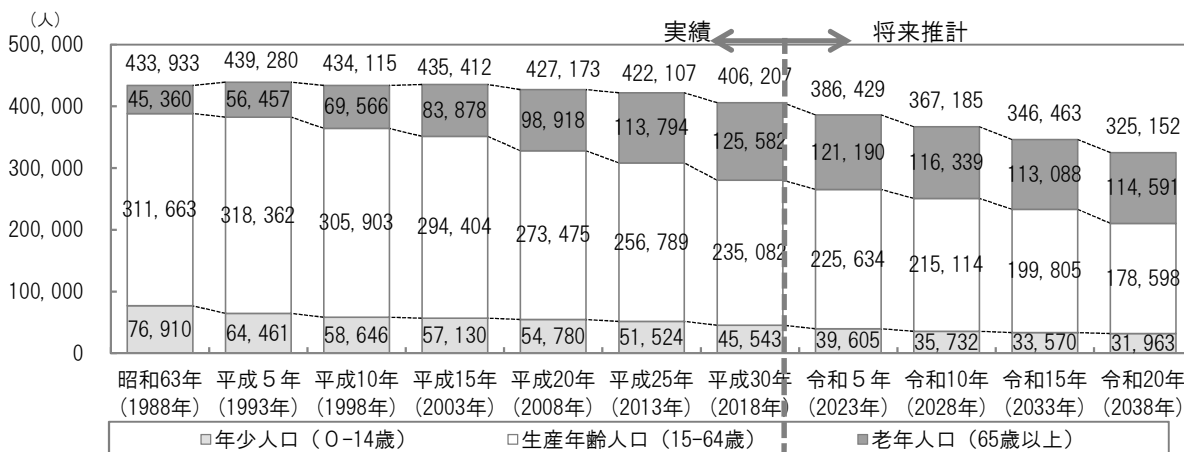
2 横須賀市の保育の現状

(1) 人口の推移

本市の総人口（住民基本台帳による人口）は、平成5年頃をピークに減少傾向にあります。平成30年には約40万6千人となっており、30年前の昭和63年と比較すると約2万8千人の減少となりました。また、年少人口（0歳から14歳）の推移をみると、昭和63年の約7万7千人から平成30年には約4万6千人まで減少し、本市において急速な少子化が進行しています。

将来の人口については、出生、死亡や人口移動について一定の仮定を設けて推計を行っています。その結果本市の総人口は、平成30年に約40万6千人でしたが、令和10年には約36万7千人に、さらに令和20年には約32万5千人まで減少すると推計しています。年少人口は、平成30年に約4万6千人でしたが、令和10年には約3万6千人に、さらに令和20年には約3万2千人に減少していくと推計しています。

図表1 総人口及び年齢3区分別人口の推移



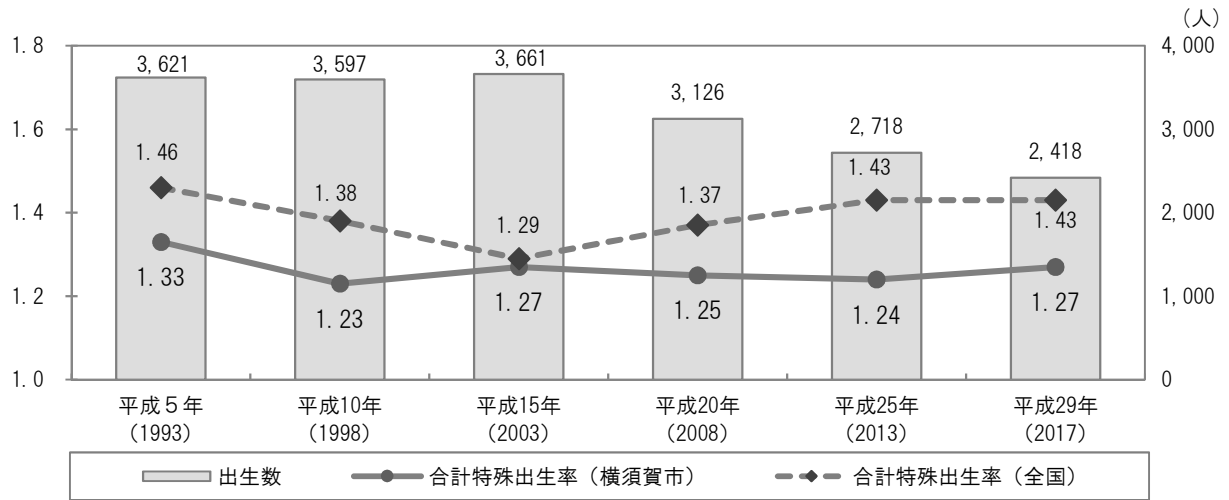
資料：昭和63年～平成10年度までは10月、平成15年～30年度は4月の住民基本台帳の状況を基に作成
令和5年以降は横須賀市都市政策研究所「横須賀市の将来推計人口（平成26年5月推計）」を基に作成

(2) 出生数及び合計特殊出生率の低下

本市の出生数は、平成5年には3,621人でしたが、平成29年には2,418人となりました。平成5年から平成29年の24年間で出生数は33.2%減少しています。全国の合計特殊出生率(*)は平成15年頃を底に平成29年には1.43まで回復していますが、本市の合計特殊出生率は全国の数値ほどには回復していません。平成15年の全国と本市の合計特殊出生率の差は0.02ポイントでしたが、平成29年には0.16ポイントの差が生じています。

(*) 合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの

図表2 出生数と合計特殊出生率の推移



資料：横須賀市健康部「衛生年報」

（3）就学前人口の推移

① 今まで

（各年4月時点）

区分	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	平成31年 (2019年)
人口総数（A）	415,862人	412,310人	409,891人	406,207人	402,260人
就学前人口 (B)	17,562人	17,265人	16,800人	16,214人	15,632人
割合B/A (%)	4.22%	4.19%	4.10%	3.99%	3.89%

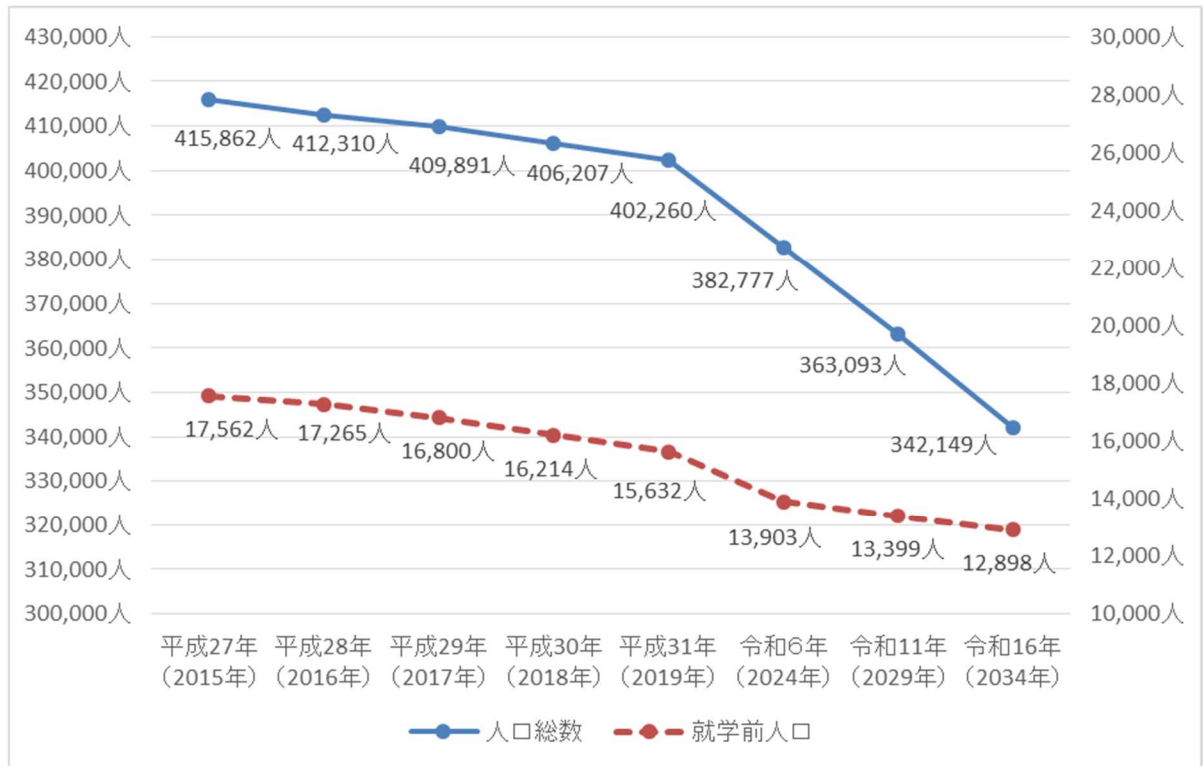
出所：横須賀市市民部「住民基本台帳」

② これから

区分	令和6年 (2024年) (5年後)	令和11年 (2029年) (10年後)	令和16年 (2034年) (15年後)
人口総数（A）	382,777人	363,093人	342,149人
就学前人口 (B)	13,903人	13,399人	12,898人
割合B/A (%)	3.63%	3.69%	3.77%

出所：横須賀市都市政策研究所「横須賀市の将来推計人口（平成26年5月推計）」

図表3 人口の推移



(4) 横須賀市の教育・保育施設等（保育のみ）の状況

① 教育・保育施設等（保育のみ）の設置状況

(各年度3月31日時点)

区分	平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)		平成30年度 (2018年度)	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
公立	11	992	11	1,000	11	1,000	11	1,000
私立	43	2,901	47	3,070	51	3,157	57	3,330
計	54	3,893	58	4,070	62	4,157	68	4,330

単位：施設数（園）、定員（人）

出所：横須賀市こども育成部

図表4 市内の教育・保育施設等（保育のみ）一覧（分園を含む）

（平成31年3月31日時点）

通し番号の反転数字は公立保育園

通し番号	区域番号	行政センター区域	施設型種類	園名
1	1	追浜・田浦	保育園	追浜保育園
2	2		認定こども園	認定こども園追浜幼稚園
3	3		保育園	パンダ保育園
4	4		保育園	パンダ保育園 分園こぼんだ
5	5		保育園	のぼら保育園
6	6		小規模保育事業所	ぎんのすず保育園
7	7		小規模保育事業所	ぎんのすずおひさま園
8	8		保育園	追浜保育室 ニコニコ
9	9		保育園	船越保育園
10	10		保育園	田浦保育園
11	1	本庁・逸見	認定こども園	認定こども園善隣園
			家庭的保育事業所	ほのぼの家庭的保育室
12	2		保育園	逸見保育園
13	3		認定こども園	認定こども園善隣園 分園こぼと園
14	4		保育園	上町保育園
15	5		保育園	鶴が丘保育園
16	6		保育園	玉成保育園
17	7		認定こども園	三和こども園
18	8		認定こども園	三和こども園安浦分園
19	9		認定こども園	三和こども園上町分園
20	10		保育園	コアラ保育園
21	11		保育園	小光子愛育園
22	12		保育園	小光子愛育園分園（きらきら星）
23	13		保育園	ベネッセ汐入保育園
24	14		保育園	佐野保育園
25	15		保育園	しんわピノキオ保育ランド
26	16	認定こども園	幼保連携型認定こども園 うわまち幼稚園	
		認定こども園	認定こども園聖佳幼稚園	
		認定こども園	認定こども園聖心第一幼稚園	
		認定こども園	認定こども園聖心第二幼稚園	
		家庭的保育事業所	こひつじ保育室	

通し 番号	区域 番号	行政センター区域	施設型種類	園名
27	1	衣笠・西	保育園	森崎保育園
28	2		保育園	衣笠保育園
29	3		認定こども園	公郷こども園
30	4		保育園	衣笠愛児園
31	5		保育園	平作保育園
32	6		保育園	池上愛育園
33	7		家庭的保育事業所	もりの保育室
34	8		保育園	武山保育園
35	9		保育園	長井保育園
36	10		保育園	長井婦人会保育園
37	11		認定こども園	太田和こども園
			認定こども園	太田和こども園分園
38	12		保育園	大楠愛児園
39	13		認定こども園	認定こども園相武幼稚園
40	14	家庭的保育事業所	かるがも保育室	
41	1	大津・浦賀	保育園	日の出保育園
42	2		認定こども園	しらかばこども園
			認定こども園	しらかばこども園池田分園
			認定こども園	しらかばこども園新大津分園
43	3		保育園	ハッピープリスクール
44	4		保育園	うさぎ保育園
45	5		認定こども園	認定こども園大津幼稚園
46	6		認定こども園	認定こども園聖心桜が丘幼稚園
47	7		認定こども園	認定こども園南横須賀幼稚園
48	8		家庭的保育事業所	しらかば家庭的保育事業所
49	9		家庭的保育事業所	さくら保育室
50	10		保育園	鴨居保育園
51	11		認定こども園	浦賀こども園
52	12		認定こども園	認定こども園岩波幼稚園
53	13	家庭的保育事業所	ひよこ保育室	
54	14	家庭的保育事業所	みかん台保育室	

通し 番号	区域 番号	行政センター区域	施設型種類	園名
55	1	久里浜・北下浦	保育園	ハイランド保育園
56	2		保育園	富士保育園
57	3		保育園	和順保育園
58	4		保育園	にじいろ保育園久里浜コスモス
59	5		保育園	にじいろ保育園久里浜ポピー
60	6		保育園	はなまる保育園
61	7		保育園	心育保育園
62	8		家庭的保育事業所	くりはまほいく
63	9		家庭的保育事業所	若宮台だっこ保育室
64	10		家庭的保育事業所	くるみ保育室
65	11		家庭的保育事業所	ペンギン保育室
66	12		家庭的保育事業所	おうち保育室ぼっぼ
67	13		保育園	津久井保育園
68	14		認定こども園	長岡こども園

② 教育・保育施設等（保育のみ）の入園状況

(各年度4月1日時点)

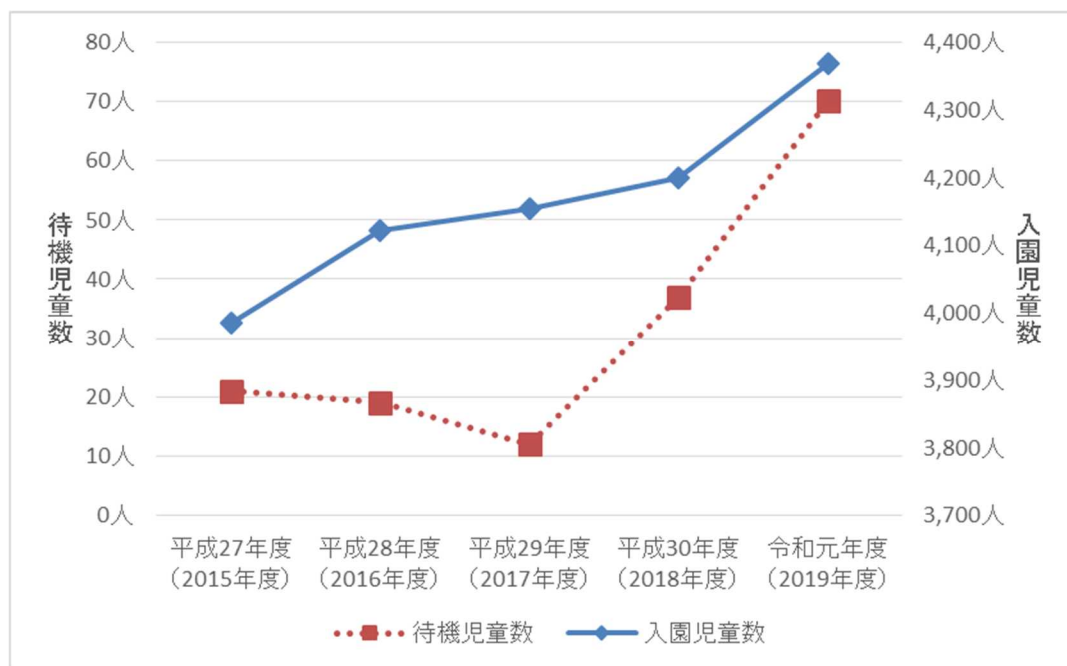
「公立」は市立保育園11園のみ

区 分	平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)		平成30年度 (2018年度)		令和元年度 (2019年度)	
	入園 児童数	待機 児童数	入園 児童数	待機 児童数	入園 児童数	待機 児童数	入園 児童数	待機 児童数	入園 児童数	待機 児童数
公立	926	7	896	6	866	1	874	12	867	9
私立	3,060	14	3,225	13	3,288	11	3,325	25	3,501	61
計	3,986	21	4,121	19	4,154	12	4,199	37	4,368	70

単位：入園児童数、待機児童数ともに（人）

出所：横須賀市こども育成部

図表5 入園の状況



図表 6 保育園等における障害児の通園状況

(各年度 3 月 31 日時点)

児童数は、療育手帳・身体障害者手帳を所有する児童数

		平成 24 年度 (2012 年度)	平成 25 年度 (2013 年度)	平成 26 年度 (2014 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	
公立保育園	保育園数 (総数)	11 か所	11 か所	11 か所	11 か所	11 か所	
	保育園数 (障害児通園か所数)	7 か所	4 か所	9 か所	9 か所	9 か所	
	障害児数	9 人	4 人	22 人	23 人	28 人	
	障害別	知的障害児	8 人	4 人	21 人	22 人	27 人
		身体障害児	1 人	0 人	1 人	1 人	1 人
私立保育園	保育園数 (総数)	29 か所	30 か所	30 か所	29 か所	29 か所	
	保育園数 (障害児通園か所数)	13 か所	11 か所	13 か所	6 か所	11 か所	
	障害児数	18 人	17 人	15 人	7 人	19 人	
	障害別	知的障害児	15 人	15 人	14 人	4 人	12 人
		身体障害児	3 人	2 人	1 人	3 人	7 人
認定こども園 幼保連携型	認定こども園数 (総数)	—	—	—	3 か所	5 か所	
	認定こども園数 (障害児通園か所数)	—	—	—	2 か所	3 か所	
	障害児数	—	—	—	5 人	9 人	
	障害別	知的障害児	—	—	—	4 人	6 人
		身体障害児	—	—	—	1 人	3 人

出所：横須賀市福祉部障害福祉課「第5期横須賀市障害福祉計画（平成30年2月）」

3 公立保育園再編の基本的考え方

公立保育園再編の基本的考え方は、次のとおりです。
基本的考え方は、未来プランと整合性を図っていきます。

(1) 今後の保育園利用希望者数の見込み

未来プランでは、平成30年11月に実施した「横須賀市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査」に基づき、保護者の就労状況や就労意向と各施設の利用定員の見込みを推計しています。

① 市民ニーズ（令和2年度と令和6年度の見込みの比較）

- ア 3歳児から5歳児の教育・保育利用は、7,605人から6,813人へ792人減少
- ・うち、3歳児から5歳児の幼児教育の利用は5,116人から4,293人へ823人減少
 - ・うち、3歳児から5歳児の保育の利用は2,489人から2,520人へ31人増加

- イ 0歳児から2歳児の保育の利用は1,980人から2,195人へ215人増加

② 市民ニーズへの公立保育園の対応方針

- ア 0歳児から2歳児の保育の利用者数の増加が見込まれるため、公立保育園を再編したとしても待機児童が発生しないよう、0歳児から2歳児の保育の利用定員を設定します。

- イ 民間幼稚園、保育園等の利用定員の設定を考慮し、公立保育園の利用定員を設定します。

- ウ 0歳児から2歳児について、保育の利用定員の地域による偏在や大規模開発により急激に市民のニーズが増加する場合には、柔軟に対応するなどの調整を行います。

図表7 幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策（全市域）

	令和2年度（2020年度）					令和6年度（2024年度）				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳
量の見込み ① (人)	4,780	336	2,489	1,641	339	3,285	1,008	2,520	1,804	391
確保方策 合計 ② (人)		6,146	2,875	1,634	412		5,882	2,971	1,902	458
うち公立保育園 (認定こども園) 分		0	645	298	57		9	568	258	60
過不足 ②-① (人)		1,030	386	△7	73		1,589	451	98	67

(2) 市民の保育ニーズへの対応

未来プランでは(1)に記載のとおり、0歳児から2歳児の保育ニーズは大きく増加し、3歳児から5歳児の保育ニーズは微増すると見込んでいます。

このため、公立保育園の再編は、待機児童対策として、3歳未満の利用定員を拡充する方向で推進します。

具体的な利用定員については、民間幼稚園、保育園等と協力しながら、待機児童が発生しないように設定します。

(3) 子育て支援の充実

保育園の制度は、保護者が仕事をしているなど、保育の必要性のある限られた児童及び保護者を利用の対象としていますが、子育て支援に対する市民のニーズは、保護者の仕事の有無に関係なく様々です。

このため、公立保育園の再配置・建替え^(*)をする場合、市民が健やかに子どもを産み育てるために必要なサービスをわかりやすく、使いやすく提供できるように認定こども園と子育て支援事業を併せ持つ施設として整備します。

この施設では、子育て支援の拠点施設として、一時預かり事業や地域子育て支援拠点事業を提供するなど、地域の状況に応じた子育て支援サービスを選択し、充実させます。

(参考) 子育て支援に対する市民ニーズ

ニーズ調査(就学前児童)によると、子育てにとってどのような支援が有効かについて、就学前児童では「仕事と家庭生活の両立支援」が39.9%と最も高く、次いで「地域における子育て支援の充実」が38.1%、「保育サービスの充実」が36.4%となっています。

ニーズ調査の自由回答では、前述の「仕事と家庭生活の両立支援」に関するものとして、一時預かりの柔軟化や、病児・病後児保育への要望が多くみられました。また、「子どもの居場所や遊び場」に関するものとして、地域の公園の整備、公園の遊具の改善、屋内の遊び場の充実に関する要望が寄せられています。

子育てにとってどのような支援が有効か【3つまで選択可】(就学前児童)

順位	子育てにとってどのような支援が有効か	割合(%)
1	仕事と家庭生活の両立支援	39.9
2	地域における子育て支援の充実	38.1
3	保育サービスの充実	36.4
4	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	32.6
5	小学校の放課後等の居場所の充実	31.5

資料：「横須賀市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査」平成30年

(*) 再配置・建替え：効率的な事業運営や事業の拡充ができる適地で施設を整備すること

(4) 運営費の効率化

市民の保育ニーズへの対応や子育て支援の充実を推進するためには、新たな財源が必要となります。

公立保育園の運営費は、民間保育園と比較して児童1人当たりに必要な運営費が高いため、次の方法により運営費の効率化を進めます。

- ① 継続的に保育ニーズが見込まれる地域であり、広域利用を想定した場合、拠点施設となる園については、再配置・建替えをする園とし、効率的な運営を行う。
- ② 継続的に保育ニーズが見込まれる地域であり、拠点施設としない園については、民営化することで存続する園とし、運営費の削減を行う。

公立保育園の運営費の効率化により生まれた財源については、施設整備に必要な経費のほか、待機児童対策、職員資質の向上など、多様な市民ニーズに対応するための経費に活用します。

(参考) 公立保育園と民間保育園の経費比較

令和2年度当初予算数値で公立保育園と民間保育園の児童1人当たりの月額経費を比較すると、公立が民間より1万1千円ほど運営費が高く、8万6千円ほど市の負担額が大きい状況にあります。

図表8 公立保育園と民間保育園の1人当たりの月額経費比較（令和2年度予算）
(単位：円)

		公立 (A)	民間 (B)	差額 (A-B)
支出	運営費	136,605	124,693	11,912
収入 (財源)	保育料	7,576	8,577	△1,001
	国・県負担金	28	73,521	△73,493
	市負担金	129,001	42,595	86,406

4 再編の方法

◆認定こども園として再配置・建替え

公立のまま存続する園については、現在の所在地にこだわらず再配置・建替えをします。

再配置・建替えをする園については、認定こども園と、ニーズ等地域の状況に応じた子育て支援を併せ持つ拠点施設として整備します。

施設を統合することで、0歳児から2歳児の児童を対象とした保育サービスを拡充します。

◆民営化

民営化して存続する園については、現在の所在地または適地で、保育園を安定的・継続的に安全・安心の保育が提供できる法人に移管し、保育運営を継続します。

◆当面の間は現状の運営を継続

未来プランでは、令和6年度まで保育ニーズは増加すると見込んでいます。

地域の保育ニーズ及び民間保育園等の状況を注視し、当面、現状のまま運営を継続しますが、運営方法（民営化等）などを検討します。

5 民営化の進め方

(1) 移管法人の選考

移管法人を募集し、応募のあった事業者の提案や実績等を、公立保育園選考委員会が以下の3項目及びその他保育に関する事項について総合的に判断し、選考します。

① 安全・安心の保育サービスの提供

保護者が子どもを安心して預けられるように、安全・安心の保育実践がなされている実績のある法人。

② 子ども本人の尊重

子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるよう、子どもの意見や意思をくみ取れる、きめ細かな保育環境を提供できる法人。

③ サービスの向上

開所時間の延長や寝具の提供、一時預かり事業の実施などサービス向上を実現できる法人。

(2) 移管法人決定後

① 子どもの育ちへの配慮

保育環境が急激に変わることはないよう、十分な引継ぎとフォローアップを実施します。市と移管法人の職員が一緒に保育する機会を設定するほか、移管後も市職員及び市保育士が訪問し、フォローアップを行います。

② 十分な情報提供

保護者説明会を開催するほか、希望者には個別相談会を行います。

また、移管法人に希望することのアンケート調査の実施や移管法人が既に運営している保育園の保護者見学会の実施など、保護者が安心して子どもを預けられるように十分な情報提供を行います。

③ 保護者と共に考えます

移管法人と保護者、市で構成する三者協議会を設置し、移管に向けた事業内容や引継ぎのスケジュールなどを保護者と共に考えます。

6 地域ごとの再編の進め方

(1) 追浜・田浦行政センター区域（追浜保育園、船越保育園、田浦保育園）

(ア) 幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策

	令和2年度（2020年度）					令和6年度（2024年度）				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳
量の見込み ① (人)	547	30	411	247	49	422	89	426	231	47
確保方策 合計 ② (人)		748	469	273	77		739	474	276	77
うち公立保育園 (認定こども園) 分		0	196	88	21		0	196	88	21
過不足 ②-① (人)		171	58	26	28		228	48	45	30

(イ) 追浜保育園

認定こども園と子育て支援事業を併せ持つ（仮称）北こども園として整備し、追浜保育園を再配置・建替えをする方法で検討します。

(ウ) 船越保育園・田浦保育園

継続した保育ニーズが見込まれる地域であることや、拠点施設としない園であるため、民営化することで保育サービスを継続できるように検討します。

(2) 逸見行政センター・本庁区域（逸見保育園、上町保育園、鶴が丘保育園）

(ア) 幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策

	令和2年度（2020年度）					令和6年度（2024年度）				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳
量の見込み ① (人)	733	70	440	279	55	508	211	517	337	76
確保方策 合計 ② (人)		1,075	498	306	89		1,042	517	337	94
うち公立保育園 (認定こども園) 分		0	158	70	12		9	81	30	15
過不足 ②-① (人)		272	58	27	34		323	0	0	18

(イ) 逸見保育園

逸見保育園は、継続した保育ニーズが見込まれることや、拠点施設としない園であるため、令和3年4月から民営化することで保育サービスを継続します。

(ウ) 上町保育園・鶴が丘保育園

上町保育園と鶴が丘保育園を統合のうえ、認定こども園と子育て支援事業を併せ持つ(仮称)中央こども園として、現在の「横須賀市職員厚生会館」をリノベーション(改修)する方法で整備します。

(3) 衣笠・西行政センター区域(森崎保育園、武山保育園)

(ア) 幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策

	令和2年度(2020年度)					令和6年度(2024年度)				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳
量の見込み ① (人)	1,205	88	658	437	82	936	265	580	460	97
確保方策 合計 ② (人)		1,295	786	399	98		1,256	770	462	112
うち公立保育園(認定こども園)分		0	114	56	10		0	114	56	10
過不足 ②-① (人)		2	128	△38	16		55	190	2	15

(イ) 森崎保育園

森崎保育園とハイランド保育園を統合のうえ、認定こども園と子育て支援事業を併せ持つ(仮称)南こども園として、久里浜地区を候補地に再配置・建替えをする方法で検討します。

(ウ) 武山保育園

当面は公立のまま維持し、運営方法(民営化等)などを検討します。

(4) 大津・浦賀行政センター区域（鴨居保育園）

(ア) 幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策

	令和2年度（2020年度）					令和6年度（2024年度）				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳
量の見込み ① (人)	846	78	444	298	63	635	234	463	367	80
確保方策 合計 ② (人)		1,352	522	274	64		1,178	565	398	84
うち公立保育園 (認定こども園) 分		0	60	28	7		0	60	28	7
過不足 ②-① (人)		428	78	△24	1		309	102	31	4

(イ) 鴨居保育園

令和2年度中に新築した後、当面は公立のまま維持し、運営方法（民営化等）などを検討します。

(5) 久里浜・北下浦行政センター区域（ハイランド保育園、津久井保育園）

(ア) 幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策

	令和2年度（2020年度）					令和6年度（2024年度）				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳		教育利用	保育利用	1-2歳	0歳
量の見込み ① (人)	1,449	70	536	380	90	784	209	534	409	91
確保方策 合計 ② (人)		1,676	600	382	84		1,667	645	429	91
うち公立保育園 (認定こども園) 分		0	117	56	7		0	117	56	7
過不足 ②-① (人)		157	64	2	△6		674	111	20	0

(イ) ハイランド保育園

森崎保育園とハイランド保育園を統合のうえ、認定こども園と子育て支援事業を併せ持つ（仮称）南こども園として、久里浜地区を候補地に再配置・建替えをする方法で検討します。

(ウ) 津久井保育園

当面は公立のまま維持し、運営方法（民営化等）などを検討します。

7 再編のスケジュール

(1) 認定こども園として再配置・建替えをする施設

- ① (仮称) 中央こども園 (令和4年度開園 (予定))
⇒横須賀市職員厚生会館をこども園に改修し、上町保育園・鶴が丘保育園を再配置・建替え
- ② (仮称) 南こども園
⇒久里浜地区を候補地として園舎を新築し、森崎保育園・ハイランド保育園を再配置・建替え
- ③ (仮称) 北こども園
⇒追浜地区に園舎を新築し、追浜保育園を再配置・建替え

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
(仮称) 中央こども園	実施設計・改修工事		令和4年度 開園 (予定)		
(仮称) 南こども園			基本設計・実施設計		新築工事
(仮称) 北こども園					基本設計

(2) 民営化を予定している施設

- ① 逸見保育園 (令和3年度に民営化予定)
- ② 船越保育園
- ③ 田浦保育園

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
逸見保育園	引継ぎ・ 共同保育	令和3年度 民営化 (予定)			
船越保育園	民営化を検討 (公募条件など)				
田浦保育園	民営化を検討 (公募条件など)				

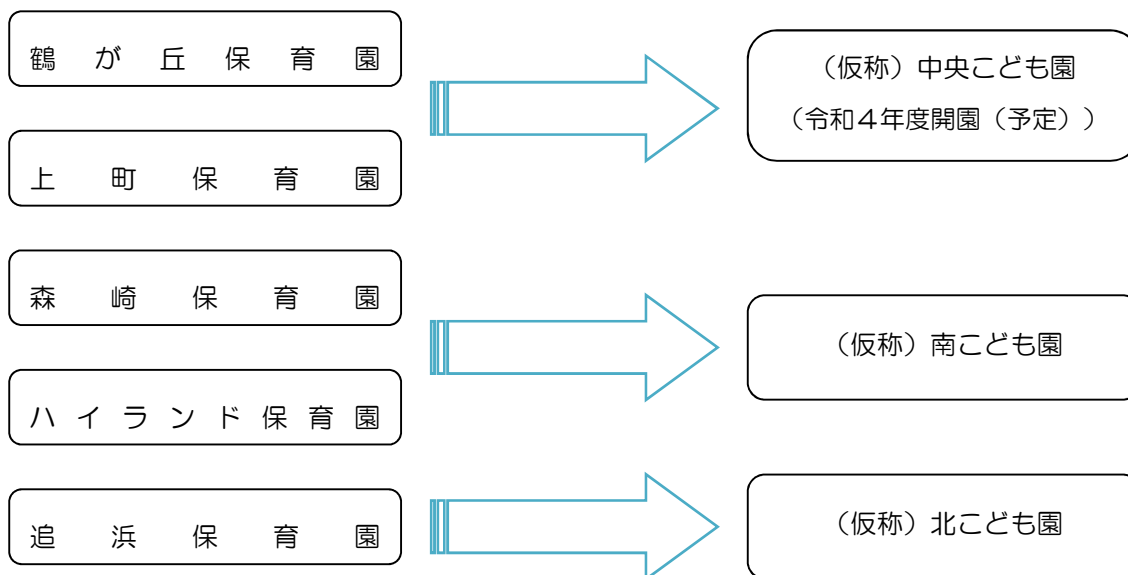
(3) 当面の間は現状の運営を継続する施設

- ① 鴨居保育園
- ② 津久井保育園
- ③ 武山保育園

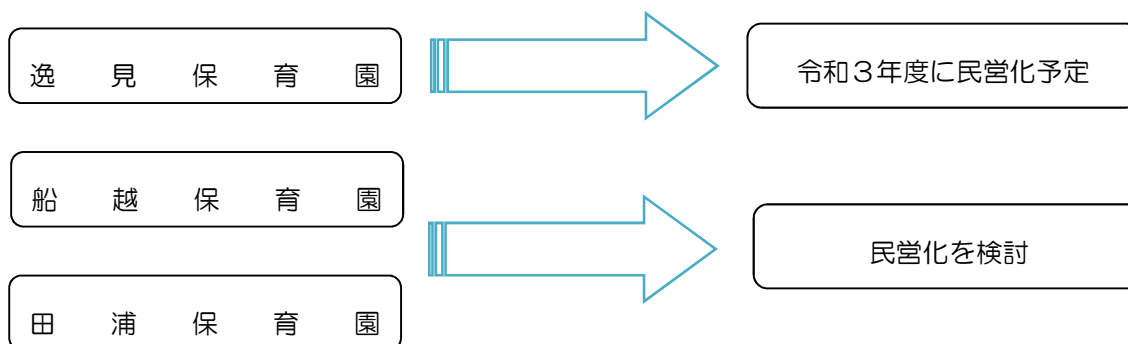
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
鴨居保育園	園舎新築	運営方法（民営化等）などを検討			
津久井保育園	現状の運営を継続（運営方法（民営化等）などを検討）				
武山保育園	現状の運営を継続（運営方法（民営化等）などを検討）				

図表9 再編のイメージ（令和2年度から令和11年度の10年間）

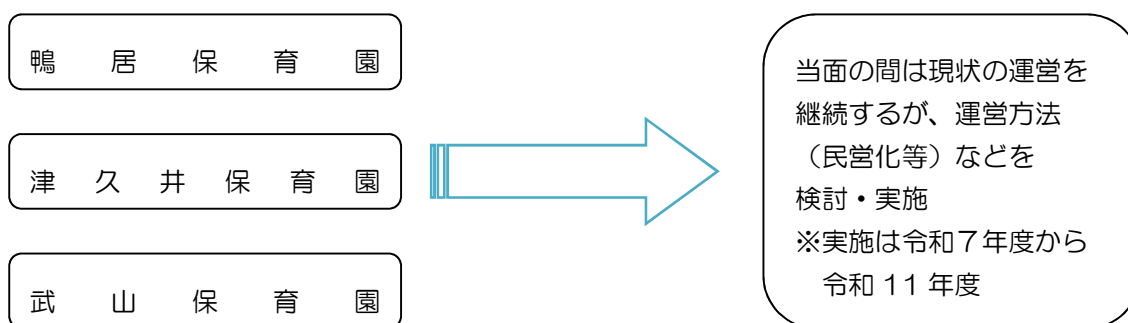
◆認定こども園として再配置・建替えをする施設



◆民営化を予定している施設



◆当面の間は現状の運営を継続する施設



(参考) 図表 10 公立保育園の所在地等

保育園名 (所在地)		開設 年度	定員 (人)	建 築 物				敷地面積 (㎡)	
				区分	床面積 (㎡)	竣工 年月	築年数		構造・規模
1	追浜保育園 (追浜本町 2-1)	S25	152	乳児棟	200.00	S41.2	54	補強 コンクリートブロック造	1,974.70
				幼児棟	583.47	S52.3	43	軽量鉄骨造	
				休憩室	13.69	H04.3	28	軽量鉄骨造	
				計	797.16				
2	船越保育園 (船越町 6-69)	S23	100	園 舎	480.27	S54.3	41	軽量鉄骨造	1,206.47
3	田浦保育園 (長浦町 1-1597)	S23	90	園 舎	539.54	S53.3	42	鉄筋コンクリート造 2階建	1,477.67
4	逸見保育園 (西逸見町 1-37)	S26	100	園 舎	499.50	S50.3	45	鉄筋コンクリート造 2階建	827.01
5	鶴が丘保育園 (鶴が丘 2-3-1)	S46	60	園 舎	312.61	S46.3	49	鉄骨ブロック造	1,517.12
6	上町保育園 (佐野町 1-20)	S29	135	園 舎	397.95	S47.3	48	鉄骨造	2,730.00
				増築園舎	172.77	S57.3	38	軽量鉄骨造	
				計	570.72				
7	森崎保育園 (森崎 3-8-1)	S49	100	園 舎	461.22	S49.3	46	軽量鉄骨造	1,824.53
8	鴨居保育園 (鴨居 3-1-6)	S41	120	園 舎	426.50	S41.3	54	補強 コンクリートブロック造	2,519.34
				別棟園舎	101.52	H13.3	19	軽量鉄骨造	
				計	528.02				
9	ハイランド保育園 (ハイランド 2-12-17)	S55	100	園 舎	537.95	S55.9	39	鉄筋コンクリート造 2階建	1,818.24
10	津久井保育園 (津久井 2-14-22)	S51	100	園 舎	537.40	S51.3	44	鉄筋コンクリート造 2階建	950.00
11	武山保育園 (武 4-17-1)	S44	100	園 舎	307.44	S44.3	51	補強 コンクリートブロック造	2,037.44
				別棟園舎	205.24	S56.3	39	軽量鉄骨造	
				計	512.68				

※築年数は、令和2年3月31日現在

横須賀が好き!



YOKOSUKA CITY SINCE 1907

横須賀市公立保育園再編実施計画

— 令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度） —

令和2年（2020年）3月

（お問い合わせ先）

横須賀市こども育成部保育課

電話：046-822-9002

FAX：046-825-9123

E-mail：ncm-cfr@city.yokosuka.kanagawa.jp